



# ドック・健診や 低侵襲手術などの提供を通じ 地域のニーズに応えた がん治療を目指す

## 公立学校共済組合 関東中央病院

### 地域のニーズにあわせ 高度な治療の実践へ

関東中央病院は、もともとは公立学校共済組合の職域病院として開院された総合病院だ。現在では共済組合員と共に、世田谷区の地域住民87万人の健康もまた担うようになった。「世田谷区は、山梨県と同等の人口を抱える地域にもかかわらず、大規模な総合病院が立地していない現状にあります。その世田谷区で、当院は唯一の地域医療支援病院であるため、救急医療や高度な医療を提供する役割が求められているといえます」と、新家眞院長は地域のニーズに応えることを心がけている。



**病院長 新家 眞**  
あらいえまこと ●医学博士。東京大学名誉教授、埼玉医科大学客員教授、東京医科大学客員教授。1974年、東京大学医学部卒業。97年、同大学院医学系研究科教授。日本緑内障学会理事長、日本眼科学会評議員(元日本眼科学会理事長)ほか

その一例として、乳がんにおいて、2011年に乳腺外科を設けて放射線治療や抗がん剤治療を含めた総合的な治療を開始し、地域の患者を数多く受け入れているという。

### 腹腔鏡手術を含め 適切な大腸がん治療を選択

同院で力を入れている治療の1つが、男女共に患者数の多い大腸がん治療だ。特に、小さな切開創から器具を体内に通して病変を切除する腹腔鏡手術においては、4名の医師で行う体制を整えたことを機に症例数が増加している。この手術を含め、患者に適した治療を選択していく。「ただがんを取り除けばいいという考えではなく、患者さんの家庭環境や社会的事情を考えた上で、QOL(生活の質)を考慮して力を入れている」と、副院長の河原正樹は語る。



腹腔鏡手術は切開創が小さいので患者の負担が少なく、7、10日ほどで退院も可能



**副院長 外科統括部長 河原 正樹**  
かわはらまさき ●医学博士。東京大学消化管外科非常勤講師、日本外科学会認定外科専門医、日本消化器外科学会認定消化器外科専門医、日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医、日本大腸肛門病学会認定大腸肛門病専門医、日本臨床外科学会評議員など

えたオーダーメイドの治療を重視しています」と河原正樹副院長。早期がんに対する内視鏡手術、進行・再発・転移がんに対する、抗がん剤治療や放射線治療も含む集学的治療など、それぞれに適した治療の選択、さらには根治性を担保した上での肛門の温存への取り組みなど、患者の要望に沿った治療を進めていく。

共済組合員の健康管理事業を担う背景を生かし、人間ドックや健診を重視しているのも同院の特徴だ。「乳がんや消化管がんは、現在では早期発見が容易になりました。それだけにぜひ定期的に健診を受けていただきたいですね」と新家院長は訴える。「大腸

がんは、女性にとつては検査のハードルが高く、女性医師による外来の開始も予定しています」と河原副院長が挙げるように、健診を受けやすくする配慮も尽くしているという。

今後も同院では、医師の増員や地域連携の推進などを進め、さらなる医療の充実を目指していく。「患者さんと開業医の方とのコーディネートであることも当院には求められています。それに答えられる人員やシステムを充実させ、今以上に地域医療に貢献しなければならぬでしょう」と新家院長は思いを語る。

取材/鈴木健太

**診療科目:** 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、代謝・内分泌内科、神経内科、腎臓内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科(重松次郎昌幸)、形成外科、乳腺外科、臨床検査科、病理診断科

**受付時間:** (初診)8:30~11:30 (再診)7:50~11:30  
※受付時間は診療科によって異なります。

**休診日:** 土・日・祝

〒158-8531 東京都世田谷区上用賀 6-25-1  
TEL.03-3429-1171 FAX.03-3426-0326  
<http://kanto-ctr-hsp.com/>

※人間ドックは保険適用外。費用は2日人間ドックコースが6万7500円(税込)、1日人間ドックコースが4万3500円(税込)、脳ドックコースが4万9500円(税込)